

農学部共同獣医学科

1 共通教育について

a 共同獣医学科における共通教育の理念と教育目標

理 念

獣医師には、地球上全ての動物生命の健康と繁栄に責任を負う自然科学としての獣医学を背景とし、論理性および倫理性を兼ね備えた高い行動規範が求められる。共通教育科目は、その基盤となる基礎的知識の習得を求め、多様な領域に対する学問的関心を喚起することで幅広く深い総合的な判断力を培い、獣医師として豊かな人間性を涵養することが目的である。共同獣医学科における共通教育科目は、「大学教育導入科目群」、「スポーツ健康科目群」、「外国語科目群」、「人文社会科学科目群」、「理数系基礎科目群」および「配置大学特色科目群」によって構成され、獣医学を学ぶに必要な基礎的知識を習得させるものである。

教育目標

共同獣医学科では、獣医師として動物と人類の健康と福祉に貢献し、高度獣医療の提供、人の健康と食の安全、生命科学研究の発展に国際的な視野を持って活躍できる人材を養成することを目指している。したがって、共通教育では、獣医学の基盤となる高等動物の生命科学に対する知識とともに、外国語による情報集や思考の素養を身に付け、現代の人間と社会の基本的問題や人文社会科学の諸分野の課題について学ぶことで、獣医師として豊かな人間性を養うことが目的である。

b 各科目群の教育目標

(1) 大学教育導入科目群の教育目標

大学教育導入科目群における科目では、大学教育における学業活動の全般のイントロダクションとして協調性や社会性、創造性や自ら問題解決することの重要性について学ぶ。

(2) スポーツ健康科目群の教育目標

スポーツ健康科学群における科目では、社会生活を送る上で身に付けておくべき基本知識や技能の一環として、人間の身体や健康、スポーツに関する正しい知識を学び、自らの体力とその維持増進方法を実践的に理解するとともに、各個人の目的に応じた身体運動やスポーツ活動を実践する能力を習得する。

(3) 外国語科目群の教育目標

外国語科目群では、国際的に広く用いられている英語に関する基礎知識を身に付け、獣医学の関わる自発的な思考や情報の収集・発信を行うための素養を身に付ける。

(4) 人文社会科学科目群の教育目標

人文社会科学科目群では、現代の人間と社会の基本的問題および人文社会科学の諸分野の中でも、動物と人類の健康と福祉に貢献する獣医師において極めて重要な内容として、社会ならびに文化が人間にとってどのような意味や機能を持つのかについて考え、現代社会

に生きる人間としての「ものの見方・考え方」を養う。

(5) 理数系基礎科目群の教育目標

動物と人類の健康と福祉，高度獣医療の提供，人の健康と食の安全ならびに生命科学研究の発展に貢献する獣医学では，高等動物の生命科学に関する基礎学問の修得が不可欠である。理数系基礎科目群では，獣医学教育の基盤となる理数系基礎学問を履修し，生命現象の基本原則に関する知識を習得する。

(6) 配置大学特色科目群

科目群全体の教育目標

地球上全ての動物生命の健康と繁栄に責任を負い，論理性および倫理性を兼ね備えた高い行動規範が求められる獣医師には，獣医学の基盤となる基礎知識ならびに幅広く深い総合的な創造力，判断力，自己解決能力が求められる。配置大学特色科目群では，上記の共通教育の科目群とは別に学生諸君が主体的に履修科目を精選し，履修することで，多様な領域に対する学問的関心を促し豊かな人間性を養う。

各科目の科目目標

・ 「外国語アドバンス」の科目目標

英語以外に，現在、国際的に広く用いられている言語について学生諸君が自ら精選し履修することで，獣医学の関わる自発的な思考や情報の収集・発信に関する多角的素養を身に付けることを目的とする。

・ 「持続可能な環境・社会」の科目目標

人間と社会の基本的問題や人文社会科学の諸課題について広く学ぶことは，獣医師として豊かな人間性を養うために極めて有用である。「持続可能な環境・社会」では，「人文社会科学科目群」に挙げた基本的重要科目の他に，多様性に富んだ各種関連科目を学生諸君が自主的に精選し履修することで，現代社会に生きる人間としての「ものの見方・考え方」をいっそう深く洞察する力を身に付けることを目的とする。

・ 「理数系アドバンス」の科目目標

「理数系アドバンス」では，「理数系基礎科目群」で学んだ高等動物の生命科学に関する基礎科目の他に，多彩な理数系関連科目を学生諸君が自主的に精選し履修することで，動物と人類の健康と福祉，高度獣医療の提供，人の健康と食の安全ならびに生命科学研究の発展に貢献するための深く幅広い教養知識と洞察力を育む。

2 専門教育について

< 農学部理念と目標 >

* 理念

岩手大学農学部は，農業，生命，環境，動植物に関連して現代人が直面する諸課題の解決に向け，高度な専門的知識とリーダーシップを持って行動することができる人材を育成する。

また，寒冷地における生物生産・管理・利用に関する総合科学技術としての生命農学の体系化をはかることにより，地域社会への貢献を推進する。

***教育目標**

農学部は、人間の生活にとって不可欠な生物生産や地域環境、社会との関わりを理解する総合科学教育の実践を目指す。

加えて、幅広い知識と経験に基づく課題探求能力、周囲との交流対話に根ざした問題解決能力を併せもつ人材を育成することを目標とする。

***研究目標**

農学部は、独創的な国際レベルの学術研究、そして地域社会との連携による新分野の研究を追求する。具体的には以下の視点からの研究の推進と質的向上を目指す。

- 1) 持続可能な地域農林水産業と豊かな社会の形成に対する貢献
- 2) 地球規模の問題を視野に入れた課題の解決
- 3) 生物系地場産業の創出・発展への積極的な取り組み

***社会貢献目標**

農学部は、地域社会に存在する教育、研究ニーズを積極的に掘り起こし、学部の教育・研究課題として受け止める一方、その成果をわかりやすく解説しながら社会に還元していくことを目標とする。この目標実現のためには、日常的に地域社会と農学部の交流を十全にし、その関係構築の土壌形成に努めることとする。

さらに、地域社会から国際社会へ教育研究の場を広げ、知的資産を還元し社会に貢献する。

<教育目的>

農学部は、広い教養と寒冷地農学を中心とした農学の諸問題を解決できる能力を身につけ、地域からグローバルに至る広く社会で活躍できる農学系技術者を養成する。

また、農学系の諸分野における基礎及び専門知識を備えるだけでなく、課題解決能力、コミュニケーション能力を身につけて社会の要請に応えることのできる人材の養成を目的とする。

<共同獣医学科教育目的>

人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき、高度獣医療の提供、人類の健康と食の安全、並びに生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材の養成を目的とする。